

ごあいさつ

日本コミュニティ心理学会第 15 回大会

大会長 小坂守孝（北翔大学 人間福祉学部 福祉心理学科）

日本コミュニティ心理学会第 15 回の大会は、学会として初めて北海道で開催されることとなりました。みな様をお迎えできますことを大変嬉しく存じます。

昨年 3 月 11 日の東日本大震災は地震・津波の直接的被害を受けた東北地方のみならず、日本全体を揺るがすものとなりました。その中で、次第にコミュニティにまつわる諸問題が浮き彫りになってきております。今後、あらためて「コミュニティ心理学には何ができるのか」が問われてくるのではないのでしょうか。

そこで、大会テーマを「試されるコミュニティ心理学」とさせて頂きました。

大会企画講演・シンポジウムではコミュニティに生きる当事者からあらためて学ぶことをめざし、精神科病院退院者への支援、ホームレス支援、電話相談に携わる諸先生からご講演・話題提供を頂くことといたしました。

また、ワークショップでは、東日本大震災でのコンサルテーション活動より災害時における支援者支援を考えてゆくセッションと、北海道においても深刻であるメンタルヘルスの問題に対するコミュニティとしての支援について考えてゆくセッションを設けることといたしました。

例年でゆきますと 7 月中旬の札幌は比較的過ごしやすいかと思います。みな様のご参加をスタッフ一同、心よりお待ち申し上げます。

2012 年 5 月

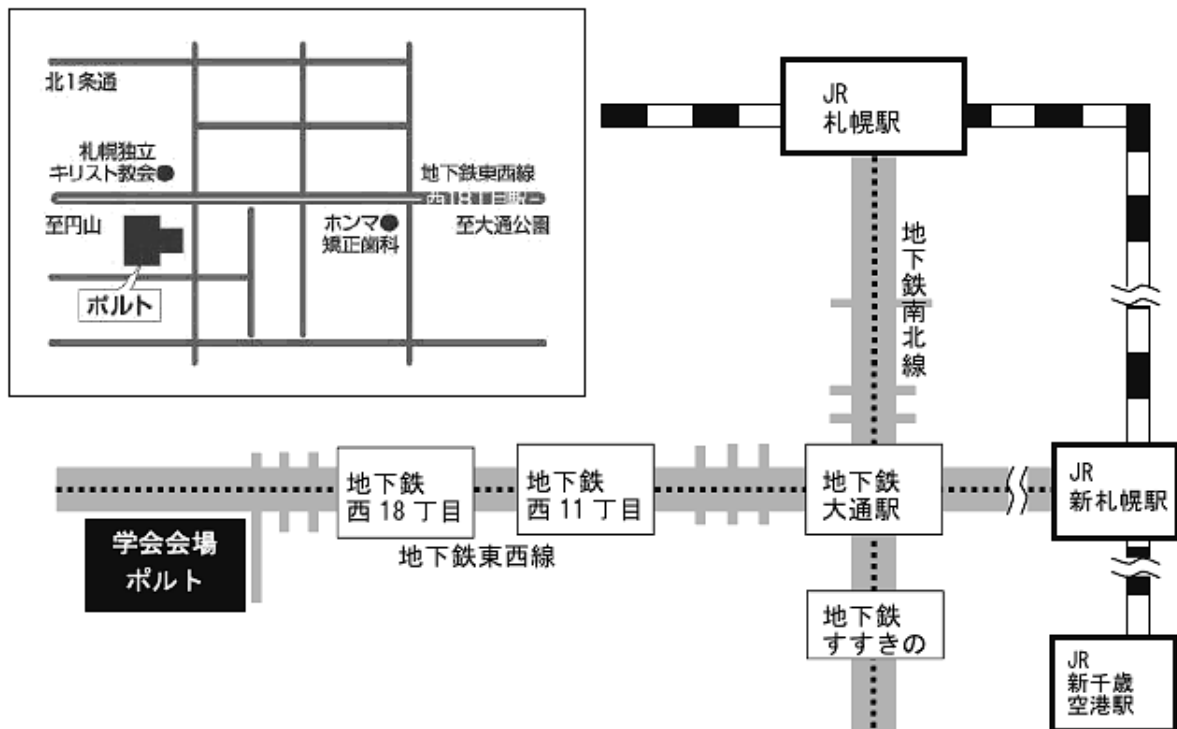
交通アクセス

会場 北翔大学北方圏学術情報センターPORTO

〒064-0801 札幌市中央区南 1 条西 22 丁目 1 番 1 号

<http://www.hokusho-u.ac.jp/sisetu/porto>

最寄り駅:札幌市営地下鉄東西線「西 18 丁目」1 番出口 徒歩 5 分



【新千歳空港からの主要駅までのアクセス】

新千歳空港駅「快速エアポート」→(約 30 分)→ 新札幌駅→(約 10 分)→ 札幌駅

【札幌駅からのアクセス】

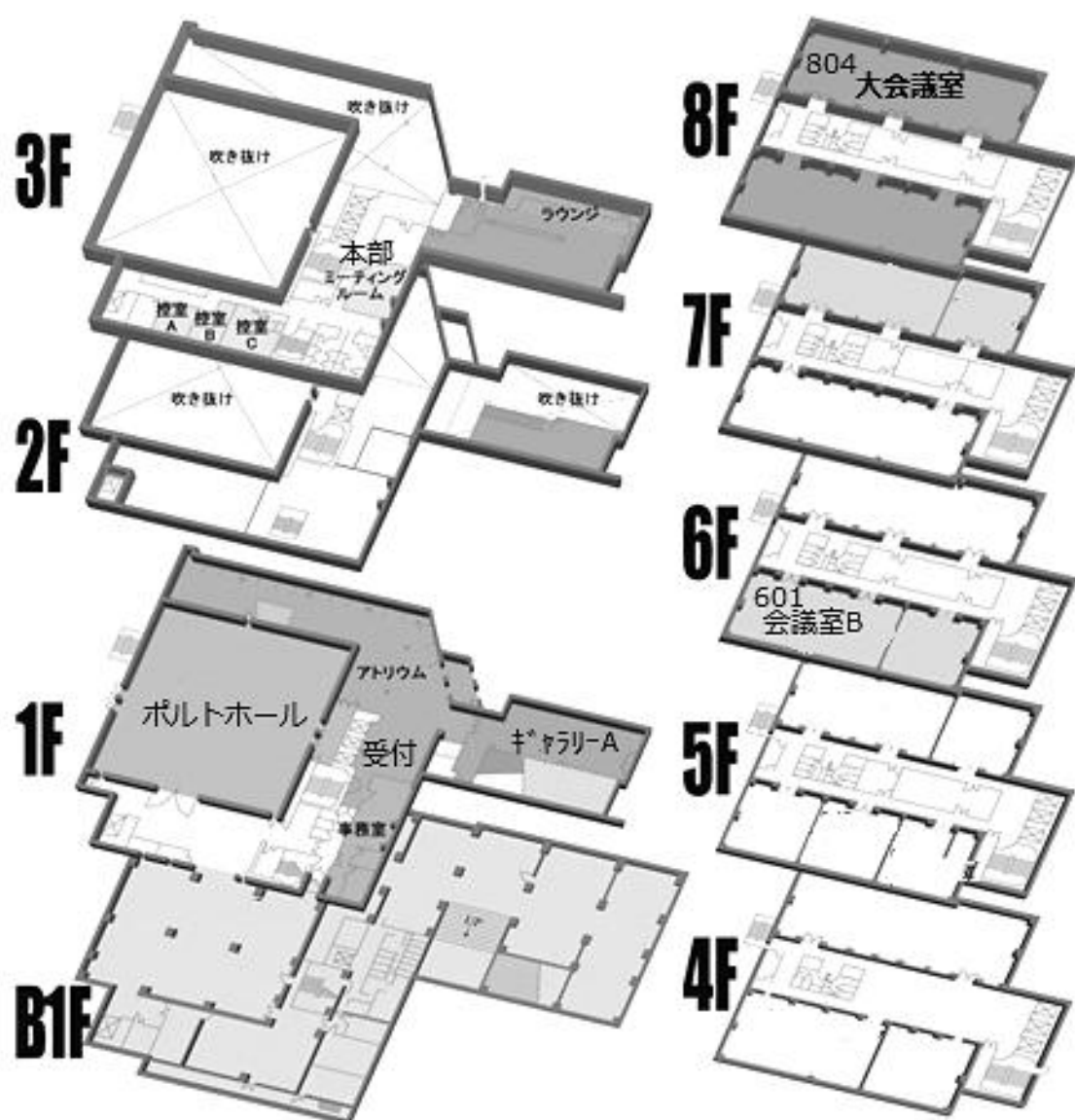
地下鉄南北線 1 番ホーム さっぽろ駅→(約 2 分)→大通駅(東西線へ乗り換え)

地下鉄東西線 4 番ホーム 大通駅→(約 3 分)→西 18 丁目駅 下車

【新札幌駅からのアクセス】

地下鉄東西線 新さっぽろ駅→(約 23 分)→西 18 丁目駅

会場案内



- ・3F ミーティングルームが大会本部となっています。
- ・会場内に食堂はありません。各自でご用意願います。なお、会場周辺には レストラン・コンビニエンスストア等がございます。
- ・1F アトリウム、3F ラウンジを休憩室としてご利用いただけます。なお、会場内は喫煙場所が指定されております。係員にご確認ください。
- ・1F ギャラリーA にて、お荷物をお預かりします。貴重品につきましては、ご自身で管理をお願いします。お預けになった荷物は第一日目 17:30、第二日目 16:30 までにお引き取りください。

大会参加者へのご案内

1. 受付

第一日・第二日いずれも 9:30 から受付を開始いたします。受付場所は、正面玄関ホール エントランスとなっています。学生の方は、学生証を携帯してご参加ください。

2. 参加費等

大会参加費	正会員	予約参加：6,000 円	当日参加：7,000 円
	非会員	予約参加：7,000 円	当日参加：8,000 円
	学生会員	予約参加：3,000 円	当日参加：4,000 円

※学生であることを証明できる書類をご提示ください。

3. 名札

受付にて名札をお渡しします。氏名・所属を記名し、会場内では必ずご着用ください。

4. クローク

ギャラリー A 内にあります。

貴重品につきましては、ご自身で管理をお願いします。

お預けになった荷物は第一日目 17:30、第二日目 16:30 までにお引き取りください。

5. 休憩室

1F アトリウム、3F ラウンジに休憩スペースをご用意しております。お気軽にご利用ください。

6. 喫煙

会場内は全面禁煙となっております。指定の喫煙所をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

7. 駐車場

駐車場の用意はございません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

大会企画・プログラム

本大会のプログラムは、いずれも事前の参加予約は必要ありません（懇親会を除く）。

1. 大会企画講演

会場 ポルトホール

日時 7月14日（土）13：45～14：45

「コミュニティ支援、ベてる式。」

講師 小林 茂 （社会福祉法人浦河ベてるの家」の生活サポートセンター長）

司会 小坂 守孝（北翔大学）

2. 大会企画シンポジウム

会場 ポルトホール

日時 7月14日（土）15：00～16：30

「当事者に学ぶ」

シンポジスト 小林 茂 （社会福祉法人浦河ベてるの家生活サポートセンター長）

今川 民雄（北星学園大学）

佐藤 至英（北翔大学）

司 会 久田 満 （上智大学）

3. ワークショップ

日時 7月15日（日）14：30～16：00

ワークショップ1 **会場** 大会議室（804 室）

「働く人の心を守るためのコミュニティづくり」

企画責任者：小坂 守孝（北翔大学）

話題提供者：横山 正幹（さっぽろ駅前クリニック）

話題提供者：細川 恵子（北海道中小企業家同友会）

話題提供者：小坂 守孝（北翔大学）

ワークショップ2 **会場** 会議室 B（601 室）

「災害時における支援者支援－東日本大震災でのコンサルテーション活動から学ぶ」

企画責任者：久田 満 （上智大学）

話題提供者：久田 満 （上智大学）

話題提供者：菅井 裕行（宮城教育大学）

話題提供者：箕口 雅博（立教大学）

コメンテーター：小野田克子（南相馬市立総合病院・看護師長）
司 会：丹羽 郁夫 （法政大学）

4. 口頭発表

口頭発表 1：7月14日（土）10：30～12：15

会場 会議室 B（601 室）

口頭発表 2・3：7月15日（日）10：15～12：00

会場 口頭発表 2：大会議室（804 室）

口頭発表 3：会議室 B（601 室）

5. ポスター発表

ポスター発表 1：7月14日（土）10：30～12：30

ポスター発表 2：7月15日（日）10：15～12：15

会場 ギャラリー A

6. 院生の集い

日時 7月14日（土）12：30～13：30

会場 会議室 B（601 室）

院生の方はお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

院生以外の方の参加はご遠慮ください。

7. 総会

日時 7月15日（日）13：00～14：00

会場 大会議室（804 室）

8. 理事会

日時 7月13日（金）18：30～20：30

会場 会議室 B（601 室）

懇親会のお誘い

7月14日(土) 18:00~20:00

北海道らしいお食事、お酒をお楽しみください。

みなさまのご参加をお待ちしております。

懇親会費 予約参加：5,000円 当日参加：6,000円

※原則予約制です。余裕がある場合のみ当日受付を行います。

会場 サッポロファクトリーレンガ館「ビヤケラー札幌開拓使」

地下鉄東西線「バスセンター前」駅8番出口徒歩5分

住所 〒札幌市中央区北2条東4丁目 TEL：011-207-5555

<http://sapporofactory.jp/shop-indi/shop-id108.html>



大会日程

第 1 日目 7 月 14 日 (土)

	第 1 会場 ポルトホール	第 2 会場 ギャラリーA	第 3 会場 大会議室 (804)	第 4 会場 会議室 B (601)
9 : 30	9 : 30- 受付開始・開場			
10 : 30		10 : 30 - 12 : 30 ポスター発表 1 P1-01 ~ P1-13		10 : 30 - 12 : 15 口頭発表 1 O1-01~O1-05 座長 : 今川 民雄
12 : 30				12 : 30 - 13 : 30 院生の集い
13 : 45	13 : 45 - 14 : 45 大会企画講演 コミュニティ支援、 べてる式。 司会 : 小坂 守孝 講師 : 小林 茂			
15 : 00	15 : 00 - 16 : 30 大会企画 シンポジウム 当事者に学ぶ 司会 : 久田 満 シンポジスト : 小林 茂 今川 民雄 佐藤 至英			
18 : 00	18 : 00 - 20 : 00 懇親会 (ビヤケラー札幌開拓使)			

第2日目 7月15日(日)

	第1会場 ポルトホール	第2会場 ギャラリーA	第3会場 大会議室 (804)	第4会場 会議室B (601)
9:30	9:30- 受付開始・開場			
10:15		10:15 - 12:15 ポスター発表2 P2-01~P2-13	10:15 - 12:00 口頭発表2 O2-01~O2-05 座長: 箕口 雅博	10:15 - 12:00 口頭発表3 O2-06~O2-10 座長: 北島 茂樹
13:00			13:00 - 14:00 総会	
14:30			14:30 - 16:00 ワークショップ1 働く人の心を守るためのコミュニティづくり 企画責任者: 小坂 守孝 話題提供者: 横山 正幹 細川 恵子 小坂 守孝	14:30 - 16:00 ワークショップ2 災害時における支援者支援 ー東日本大震災でのコンサルテーション活動から学ぶ 企画責任者: 久田 満 話題提供者: 久田 満 菅井 裕行 箕口 雅博 コメンテーター: 小野田 克子 司 会: 丹羽 郁夫
16:30	16:30 閉会			

研究発表案内

A. 口頭発表

- 受付： 会場に 10 分前までにお入りください。
- 構成： 各セッションは、1 時間 45 分で構成されます。
- 発表： 1 件につき 1 5 分以内
- 質疑： 1 件につき 5 分以内
- 機器： Windows7 で PowerPoint2007 が作動します。Mac をご使用の方は、各自でお持ちください。（アダプターもお願い致します。）
データは USB メモリでお持ちください。
- 資料： 当日、資料を配布される方は、各自でご用意ください。配布に関しては、会場係がお手伝いいたします。なお、資料回収を必要とする場合には、発表者が責任を持って回収・処分してください。
- 運営： 運営の詳細は、座長に一任されます。（※時間厳守でお願い致します。）

B. ポスター発表

- 受付： 会場に 5 分前までにお入りください。
- 構成： 各セッションは、2 時間で構成されます。
- 在席： 奇数番号の方は前半 1 時間、偶数番号の方は、後半 1 時間です。
- 質疑： 在席責任時間に、活発な質疑・討論をお願いします。
- 資料： 当日、資料を配布される方は、各自で必要部数をご用意ください。
- 形状： 横 120cm×縦 170cm の範囲に収まるよう作成してください。ポスター上部に、発表タイトル、氏名・所属を明記してください。
- 掲示： 受付で掲示に必要な画鋏をお渡ししますので、セッション時間内は指定の場所にポスターを掲示し、終了後は速やかに片づけをお願い致します。

研究発表

1 日目 7 月 14 日 (土)

口頭発表 1 10:30~12:15 会議室 B (601 室) 座長: 今川 民雄 先生

O1-01	性同一性障害当事者の性別移行の中にみるアイデンティティ再構築プロセスについてー半構造化面接による MTF カミングアウト体験の聴取からー	目白大学大学院	西野明樹
O1-02	当事者性を活かす男性援助ー男性相談と父親支援の活動からー	京都橘大学健康科学部 株式会社島津製作所健康・安全センター	濱田智崇 坊 隆史
O1-03	当事者性を活かす男性援助ー男性相談と従業員支援ー	株式会社島津製作所健康・安全センター 京都橘大学健康科学部	坊 隆史 濱田智崇
O1-04	カルト脱会者における家族関係の認知変容についての研究	立教大学	高杉葉子
O1-05	看護職における職場へのコミュニティ感覚とメンタルヘルス	上智大学大学院 上智大学 (株)NTT ドコモ	塚越菜緒子 久田 満 荒井久美

ポスター発表 1 10:30~12:30 ギャラリー A 在籍責任時間 奇数番号: 10:30-11:30
偶数番号: 11:30-12:30

P1-01	社会的認知度の低い行動問題についての現状と展望ー場面緘黙の当事者団体を対象とした質問紙調査に基づいてー	北翔大学大学院臨床心理センター	広瀬慎一
P1-02	失業者に対するスティグマが失業者のメンタルヘルスに及ぼす影響	東京大学 北里大学 駒沢女子大学	高橋美保 森田慎一郎 石津和子
P1-03	神経症者のセルフヘルプ・グループにおけるエスノグラフィックリサーチーリーダーの実践と体験への着目ー	明治大学大学院	三好真人
P1-04	レクリエーション活動を通じたコミュニティ形成の取り組みー精神障害者のレジャー生活に着目したピアグループー	江戸川大学 都立多摩総合精神保険福祉センター	木村文香 中村干城
P1-05	新任教師の援助要請行動に影響を与える要因の検討ー被援助志向性とサポート知覚の影響ー	兵庫教育大学発達心理臨床研究センター	中村菜々子
P1-06	中 1 ギャップにおける学校享受感情の変化についてー小 6 から中 3 までの縦断的調査からー	埼玉東萌短期大学 日本女子大 日本女子大	高橋美枝 小出ひろ美 鶴養美昭
P1-07	中学校教員は職員室を如何に意味づけているかー職員室風土という観点からの検討ー	北海道大学大学院教育学院	佐藤昭宏
P1-08	小学校通常学級における同一児童に対する複数の支援者の協働の構造ー特別支援教育支援員と大学生による支援員ミーティングの分析から仮説モデルの生成	東京女子大学大学院	黒住早紀子
P1-09	思春期の子どもをもつ親への心理教育的支援 (1)ー子どもとの良好な関係性に焦点をあててー	鈴鹿医療科学大学 名古屋大学大学院教育発達科学研究科	渡邊賢二 平石賢二
P1-10	思春期の子どもをもつ親への心理教育的支援 (2)ー親子間葛藤の理解に焦点をあててー	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 鈴鹿医療科学大学	平石賢二 渡邊賢二

P1-11	大学コミュニティにおけるソーシャル・キャピタル測定の試み －因果モデルを活用し包括的なアセスメントの可能性を探 るために－	北海道大学教育学研究院	松田康子
P1-12	大学生における同性の友人からのサポート要請に対する負 担感－友達なら助けるのは当然か？	上智大学大学院 上智大学	吉田朱里 久田 満
P1-13	地域性と子どもの育みについて －小さなコミュニティが、育む面と抑制する面－	北星学園大学社会福祉学部	西山 薫

2日目 7月15日（日）

口頭発表 2 10：15～12：00 大会議室（804 室） 座長：箕口 雅博 先生

O2-01	東日本大震災後の大学コミュニティにおける学生相談活動 の展開(2)－震災後 1 年間の活動と課題について－	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 東北大学	堀 匡 池田忠義 佐藤静香 齋藤未紀子 吉武清實
O2-02	大学におけるハラスメントの生起状況についての検討 －新聞報道に基づく分析－	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 東北大学	池田忠義 堀 匡 佐藤静香 齋藤未紀子 吉武清實
O2-03	日本語版大学生用コミュニティ感覚尺度作成の試み(3) －所属大学が第一志望か否かの観点からの検討－	金沢工業大学大学院心理科学研究科 金沢工業大学大学院心理科学研究科 金沢工業大学カウンセリングセンター 常願寺病院	西本 景 塩谷 亨 加々美智光 川戸悦代
O2-04	大学生における所属大学へのコミュニティ感覚とメンタルヘル ス（1）－学生用コミュニティ感覚尺度の作成－	久喜すずのき病院 上智大学	井上麻衣 久田 満
O2-05	大学生における所属大学へのコミュニティ感覚とメンタルヘル ス（2）－メンタルヘルスとの関係－	上智大学 久喜すずのき病院	久田 満 井上麻衣

口頭発表 3 10：15～12：00 会議室 B（601 室） 座長：北島 茂樹 先生

O2-06	高校生における運動部活動エンジョイメント体験とメンタルヘル ス	小平市スクールカウンセラー 上智大学	名和友里恵 久田 満
O2-07	部活動が高校生の自主性および協調性に及ぼす影響 ～運動部と吹奏楽部の比較を通して～	上智大学大学院 上智大学	増成亜衣子 久田 満
O2-08	大学生の大学適応を促すサポート源としてのサークル活動の 効果－適応促進へ向けた組織的方略への示唆－	国際基督教大学教育研究所	池田 満
O2-09	臨床行政論の授業が女子大学生のコミュニティ感覚に及ぼ す影響	日本女子大学	福島里美
O2-10	子育て支援総合コーディネーター養成プログラムの開発とその 評価の試み	武蔵大学 水戸こどもの劇場 青山学院大学	武田信子 横須賀聡子 坂田哲人

ポスター発表 2 10:15～12:15 ギャラリー A 在籍責任時間 奇数番号: 10:15-11:15
偶数番号: 11:15-12:15

P2-01	京都市中京区における近隣生活圏とコミュニティ意識(3) —小学校区・町内会レベルでのコミュニティ意識のマルチ レベル相関分析	京都光華女子大学 琉球大学 信州大学	石盛真徳 加藤潤三 岡本卓也
P2-02	地域コミュニティを対象とした「職場のメンタルヘルス」啓蒙の 試み	北翔大学	小坂守孝
P2-03	職業的自己像とキャリア・トランジション —客室乗務員経験者の場合	上智大学大学院 上智大学	加藤直美 久田 満
P2-04	緩和ケアにおける心理専門職に対するコンサルテーションニ ーズの検討	東京女子医科大学・川口市立医療セ ンター	安田みどり
P2-05	仕事との関係尺度の特性の検討	慶應義塾大学 金沢医科大学	増田真也 北岡和代
P2-06	児童養護施設職員のバーンアウトに対する予防的介入に ついての研究	まちどりクリニック	田島耕一郎
P2-07	教師を対象としたメンタルヘルス予防プログラムの開発とその 評価—川口市教育委員会とのコラボレーションに基づいて—	埼玉県川口市教職員メンタルヘルス チーフカウンセラー	土井一博
P2-08	S C の学校への「入り方」に関する仮説理論生成の試み —コラボレーション・プロセスのモデル化に向けて—	立教大学大学院現代心理学研究科	山本耕太
P2-09	サポートの互恵性と受容感、自尊心との関連: 受容の認 知による媒介効果	実践女子大学	源氏田憲一
P2-10	東日本大震災における被災障がい児に対する支援活動の 展開	宮城教育大学 宮城教育大学大学院	菅井裕行 櫻田翔子
P2-11	I C T 活用による心理的支援の検討 — I C T の可能性と課題—	駿河台大学	平野貴大
P2-12	日本人学生とアジア人留学生の交流合宿の意義と効果	上智大学大学院 上智大学	妹尾真知子 久田 満
P2-13	日本における移住女性の適応過程における適応促進/阻 害要因	立教大学大学院現代心理学研究科	岩崎草千子